

第 51 回造本装幀コンクール審査会

審査会は 7 月 3 日（月）午後 1 時より神楽坂の日本出版会館 4 F 大会議室で開催された。出品点数は、文学・文芸（エッセイ）、芸術書、児童書・絵本、専門書など、部門全体で 330 点となった。

審査は、学術経験者の絵本作家の浜田桂子氏、グラフィックデザイナーのミルキィ・イソベ氏、装幀家の緒方修一氏、女優・脚本家の中江有里氏と（一社）日本書籍出版協会委員、（一社）日本印刷産業連合会委員、（公社）日本図書館協会、（公社）読書推進運動協議会、（一社）出版文化国際交流会、（一財）出版文化産業振興財団、そして経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課課長補佐の矢野泰夫氏・同係長小林龍氏により行われた。

午後 1 時過ぎに、（一社）日本書籍出版協会の中町英樹専務理事から主催者挨拶が行われた後、審査員の紹介、浜田桂子氏の審査委員長選出、審査要領についての説明が行われた。全員で行う第 1 次審査（予選審査）に続き、第 2 次審査では、各後援団体の代表により、「日本図書館協会賞」「読書推進運動協議会賞」「出版文化国際交流会賞」「出版文化産業振興財団賞」各 1 点の計 4 点を予選通過作品の中から選考した。

日本書籍出版協会理事長賞は同協会委員によって部門別に 6 作品を選考。日本印刷産業連合会会長賞は同連合会委員によって同じく 6 作品が主催者賞として選考され、その中で特に印刷・製本が優れている作品を印刷・製本特別賞とした。

第 1 次・第 2 次審査が終了した後、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞の三賞が、浜田桂子氏、ミルキィ・イソベ氏、緒方修一氏、中江有里氏の 4 名とアドバイザーとして岩瀬学氏（印刷）と渡邊博之氏（製本）のエキスパートが加わり選考が行われた。2 次審査で投票数の多かった作品を中心に 1 点ごとに作品に対する評価を行い、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞の最終決定が行われた。今年は東京都知事賞の該当作品がなかったが、作品として特に評価の高いものがあり、審査員特別賞とした。その後、審査委員奨励賞の選考が行われた。最後に三賞選考委員各氏により講評が行われ、（一社）日本印刷産業連合会の神戸好夫常務理事が閉会挨拶を行ない、審査会は終了した。

□入賞作品〈①作品名 ②出版社名 ③装幀者名 ④印刷会社名 ⑤製本会社名〉

【文部科学大臣賞】

- ① 角砂糖の日 新装版 ②LIBRAIRIE6 ③佐野裕哉 ④東京印書館 ⑤積信堂

【経済産業大臣賞】

- ① 根源乃手／根源乃（亡露ノ）手、…… ②響文社 ③井原靖章 ④亜細亜印刷
⑤亜細亜印刷

【東京都知事賞】

該当なし

【審査員特別賞】

- ① DELICACY ②M+W Co.,Ltd. ③NOBUO SEKIGUCHI ④大日本印刷 ⑤大口製本

□入賞作品〈①作品名 ②出版社名 ③装幀者名 ④印刷会社名 ⑤製本会社名〉

【日本印刷産業連合会会長賞】 6 作品

①台北 國立故宮博物院－北宋汝窯青磁水仙盆 ②大阪市立東洋陶磁美術館

③上田英司、水上英子（シルシ） ④ライブアートブックス

⑤渋谷文泉閣

印刷・製本特別賞

① レッドタートル ある島の物語 ②岩波書店 ③岩波書店製作部 ④図書印刷 ⑤図書印刷

① 絵巻じたて ひろがるえほん かわ ②福音館書店 ③辻村益朗 ④精興社 ⑤岡山紙器所

① くままでのおさらい 特装版 ②ビーナイス ③竹歳明弘（スタジオビート）

④中野活版印刷店 ⑤美篤堂

①尾崎豊 OZAKI-50 ②エムオン・エンタテインメント ③田島照久 ④大日本印刷

⑤大日本印刷

① 木々との対話再生をめぐる5つの風景 図録 特別木製装丁版 ②東京都歴史文化財団 東京都美術館 ③三星安澄 ④山田写真製版所 ⑤篠原紙工（製本）滝澤ベニヤ（木板制作）



文部科学大臣賞と経済産業大臣賞の作品



数多くの作品を熱心に見入る審査員の方々



日本印刷産業連合会会長賞と日本書籍出版協会理事長賞の作品



候補の作品に対して審査員の色々な視点から評価がなされる



審査委員と意見交換する製本・印刷技術アドバイザーの渡邊博之氏（製本）と岩瀬学氏（印刷）



審査員集合写真

左前列からミルキィ・イソベ氏、緒方修一氏
後列左から中江有里氏、浜田桂子審査委員長